

JA海外債券ファンド(隔月分配型)

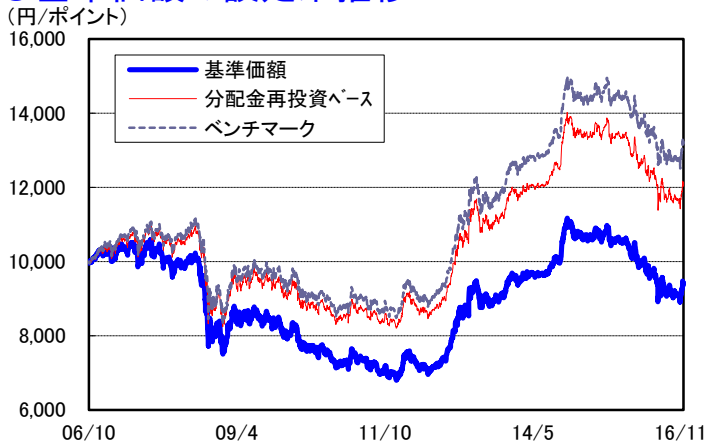
設定日:2006年10月16日 償還日:無期限 決算日:奇数月の10日(休業日の場合は翌営業日)

追加型投信/海外/債券

●商品の特徴

- 当ファンドは、JA海外債券マザーファンドを主要投資対象とし、マザーファンドを通じて、日本を除く世界各国の公社債を中心に投資を行います。
- マザーファンドの運用にあたっては、ウエルトン・マネージメント・カンパニー・エルエルピーに外貨建資産の運用および為替取引の指図に関する権限を委託します。
- 当社が円ベースに換算したシティ世界国債インデックス(除く日本)をベンチマークとし、ファンダメンタルズ分析と計量分析を併用した手法により運用を行い、ベンチマークを上回る投資成果を目指します。
- ポートフォリオ全体の平均格付(保有している有価証券に係る信用格付けを加重平均したもの)は、原則としてA格以上を維持することとします。外貨建資産については、原則として対円為替ヘッジは行いません。
- 毎決算時に安定した分配を継続的に行うことを目指します。

●基準価額の設定来推移



※1 分配金再投資ベースは分配金(課税前)を再投資したものと計算しており、分配金があった場合は実際の基準価額とは異なります。
また、実際のファンドにおいては、課税の条件によってお客様ごとに値は異なります。
※2 ベンチマークの設定来推移は、設定日を10,000として指数化したものです。
※3 上記のグラフは過去のものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。

●当月のパフォーマンス推移



●設定来の運用実績

	ファンド騰落率 (分配金再投資) (1) (%)	ベンチマーク騰落率 (2) (%)	差異 (1)-(2) (%)
過去1ヵ月	3.90	4.07	-0.18
過去3ヵ月	1.86	2.03	-0.17
過去6ヵ月	-3.22	-2.70	-0.52
過去1年	-9.15	-8.16	-0.99
過去3年	3.51	6.86	-3.35
設定日来	21.28	32.58	-11.30

※1 ファンド騰落率(分配金再投資)は、当ファンドの決算時に収益の分配金があった場合に、その分配金(課税前)を再投資した場合の騰落率です。
また、実際のファンドにおいては、課税の条件によってお客様ごとに騰落率は異なります。
※2 ファンド騰落率は過去のものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。

●基準価額と純資産総額

年月日	基準価額 (円)	シティ世界国債インデックス (除く日本、当社円換算ベース) (ポイント)	純資産総額 (百万円)	マザーファンド純資産総額 (百万円)
2016/11/30	9,438	108,026.33	117	18,232
2006/10/16 (設定日)	10,000	81,482.48	8	20,971

※1 基準価額は信託報酬等控除後で算出されます。
※2 設定日の基準価額は設定当初の投資元本です。

●過去の分配実績

決算期/年月日	分配金 (課税前)	決算期/年月日	分配金 (課税前)
49期 2015/01/13	20 円	55期 2016/01/12	20 円
50期 2015/03/10	20 円	56期 2016/03/10	20 円
51期 2015/05/11	20 円	57期 2016/05/10	20 円
52期 2015/07/10	20 円	58期 2016/07/11	20 円
53期 2015/09/10	20 円	59期 2016/09/12	20 円
54期 2015/11/10	20 円	60期 2016/11/10	20 円
		設定来合計	2,220 円

※1 1万円当たりの実績です。
※2 上記の分配金は、過去の実績であり、あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。
運用状況によっては分配金が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

●信託財産の構成

ファンド	比率(%)
マザーファンド受益証券	99.9
短期資産等	0.1
合計	100.0
うち実質外貨建比率	99.3

マザーファンド	比率(%)
外国債券	96.1
短期資産等	3.9
合計	100.0

※1 比率は純資産総額対比です。
※2 短期資産等には、コール、CD、CP、現先、未収金、未払金等が含まれます。

JA海外債券ファンド(隔月分配型)

追加型投信/海外/債券

<マザーファンドの運用状況>

●国別組入比率とデュレーション

国名	① 組入比率 (%)		② 修正デュレーション(年)		加重デュレーション(①×②)		
	ファンド	ベンチマーク	ファンド	ベンチマーク	ファンド	ベンチマーク	差
米国	40.7	44.2	6.39	5.93	2.60	2.62	-0.02
カナダ	3.1	2.1	6.26	6.89	0.19	0.15	0.05
イギリス	6.1	7.2	12.36	11.83	0.76	0.85	-0.10
ユーロ	38.4	40.1	7.54	7.41	2.90	2.97	-0.07
ドイツ	6.9	7.5	7.83	7.36	0.54	0.55	-0.01
フランス	9.5	9.9	8.04	7.83	0.76	0.77	-0.01
アイルランド	1.0	0.8	4.84	6.25	0.05	0.05	-0.00
イタリア	9.0	9.5	6.97	6.84	0.63	0.65	-0.02
オーストリア	1.4	1.5	7.91	7.86	0.11	0.12	-0.01
オランダ	2.4	2.4	7.47	7.76	0.18	0.18	-0.01
スペイン	4.9	5.5	7.38	6.87	0.36	0.38	-0.01
フィンランド	0.9	0.6	4.81	7.13	0.04	0.04	0.00
ベルギー	2.4	2.5	9.14	9.02	0.22	0.23	-0.01
その他	-	-	-	-	-	-	-
スイス	0.2	0.2	5.25	4.60	0.01	0.01	-0.00
スウェーデン	0.5	0.5	5.54	6.50	0.03	0.03	-0.00
ポーランド	0.5	0.6	4.21	4.41	0.02	0.03	-0.00
デンマーク	0.7	0.6	8.90	8.84	0.06	0.06	0.00
ノルウェー	0.5	0.3	2.52	5.14	0.01	0.01	-0.00
オーストラリア	2.2	2.1	5.48	6.24	0.12	0.13	-0.01
シンガポール	1.6	0.4	3.03	6.43	0.05	0.02	0.02
マレーシア	-	0.4	-	5.68	-	0.02	-
メキシコ	0.8	0.9	4.99	5.18	0.04	0.04	-0.00
南アフリカ	0.5	0.5	7.00	7.16	0.04	0.04	-0.00
ニュージーランド	0.3	-	3.96	4.57	0.01	-	0.01
債券合計	96.1	100.0	7.09	6.98	-	-	-
その他	3.9	-	-	-	-	-	-
合計	100.0	100.0	-	-	6.83	6.98	-0.16

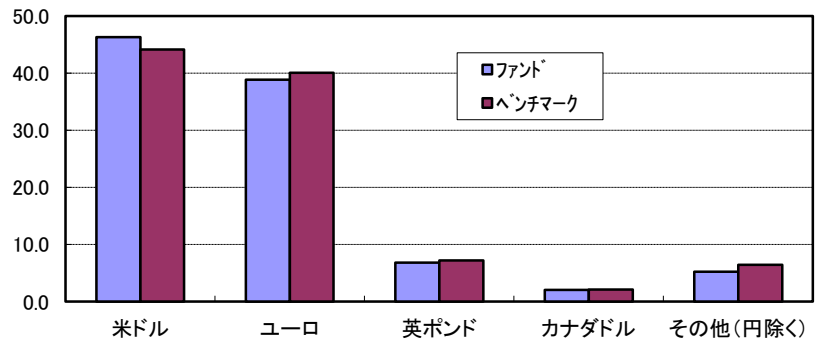
※1 比率は純資産総額対比です。

※2 加重デュレーションは、国別に修正デュレーション×組入比率で算出したものであり、金利エクスポージャーの大きさを表す数値です。

●通貨別組入比率 (%)

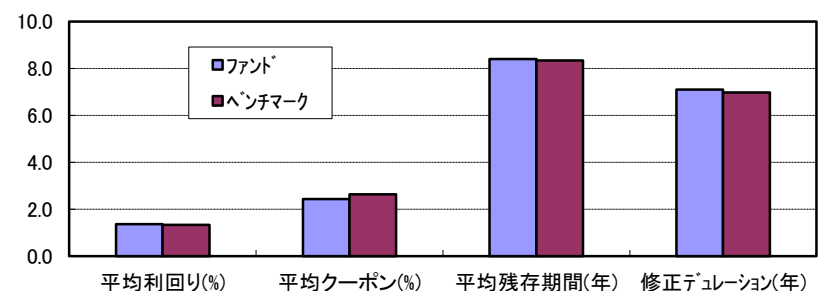
通貨	ファンド	ベンチマーク	差
米ドル	46.3	44.2	2.1
ユーロ	38.9	40.1	-1.2
英ポンド	6.8	7.2	-0.4
カナダドル	2.1	2.1	0.0
その他(円除く)	5.2	6.4	-1.2
合計	99.4	100.0	-0.6

※ 比率は純資産総額対比です。



●保有債券の属性

	ファンド	ベンチマーク	差
平均利回り(%)	1.36	1.34	0.03
平均クーポン(%)	2.44	2.63	-0.19
平均残存期間(年)	8.41	8.34	0.07
修正デュレーション(年)	7.09	6.98	0.11



JA海外債券ファンド(隔月分配型)

追加型投信/海外/債券

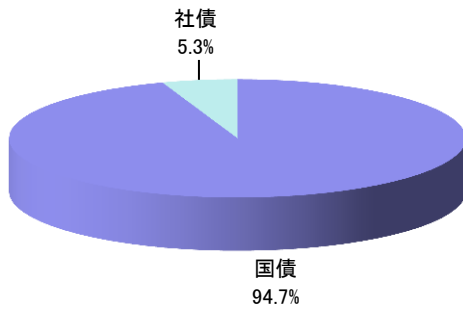
<マザーファンドの運用状況>

●セクター別組入比率

セクター	ファンド(%)
国債	94.7
地方債	-
特殊債	-
社債	5.3
その他有価証券	-
合計	100.0

※1 比率は外国債券現物対比です。

※2 特殊債にはGNMA、FHLMC、FNMAが含まれ、その他有価証券には外国貸付債権信託受益証券が含まれます。

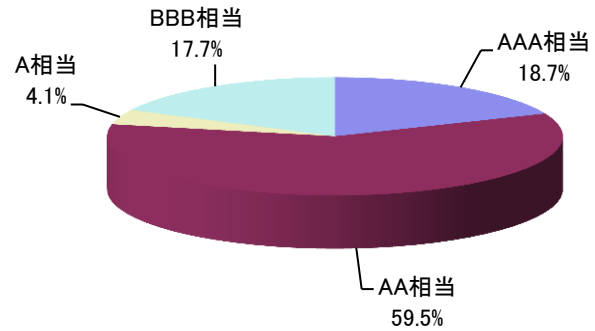


●格付別組入比率

格付	ファンド(%)
AAA相当	18.7
AA相当	59.5
A相当	4.1
BBB相当	17.7
BB相当以下	-
合計	100.0

※1 比率は外国債券現物対比です。

※2 格付けは、原則としてS&P社、Moody's社のうち低位のものを採用しています。



●組入上位15銘柄

順位	銘柄名	国名	通貨	クーポン (%)	償還日	組入比率 (%)	分類
1	T-NOTE 2.125 210815	アメリカ	USDドル	2.125	2021/8/15	9.0	国債
2	T-NOTE 1.375 200430	アメリカ	USDドル	1.375	2020/4/30	4.5	国債
3	T-NOTE 1.5 180831	アメリカ	USDドル	1.500	2018/8/31	3.1	国債
4	T-NOTE 2.625 201115	アメリカ	USDドル	2.625	2020/11/15	2.7	国債
5	OBL 0 200417	ドイツ	ユーロ	0.000	2020/4/17	2.4	国債
6	T-NOTE 1.5 260815	アメリカ	USDドル	1.500	2026/8/15	2.4	国債
7	BTPS 2.5 190501	イタリア	ユーロ	2.500	2019/5/1	2.2	国債
8	T-NOTE 1.625 190331	アメリカ	USDドル	1.625	2019/3/31	1.8	国債
9	T-NOTE 3.125 210515	アメリカ	USDドル	3.125	2021/5/15	1.8	国債
10	T-BOND 4.5 360215	アメリカ	USDドル	4.500	2036/2/15	1.8	国債
11	OAT 2.25 240525	フランス	ユーロ	2.250	2024/5/25	1.7	国債
12	CAN GOV 0.75 210901	カナダ	カナダドル	0.750	2021/9/1	1.7	国債
13	BUND 1.0 250815	ドイツ	ユーロ	1.000	2025/8/15	1.7	国債
14	T-BOND 2.5 460515	アメリカ	USDドル	2.500	2046/5/15	1.5	国債
15	T-BOND 3.625 440215	アメリカ	USDドル	3.625	2044/2/15	1.5	国債

※ 比率は外国債券現物対比です。

組入銘柄数: 155銘柄

JA海外債券ファンド(隔月分配型)

追加型投信/海外/債券

<運用担当者のコメント>

●11月の市場動向と運用状況

(市場動向)

当月、国債利回りは世界的に上昇しました。特に、米国国債は、トランプ新政権の財政政策の拡大期待によりインフレ率が上昇するとの見方から、高水準で推移しました。為替については、引き続きトランプ次期大統領による政策への期待感が高まるなか、堅調な米経済指標や米国長期金利の上昇によって、米ドルは大半の通貨に対して上昇しました。英ポンドは、イングランド銀行(BOE)の中立的な金融政策と欧州連合(EU)離脱の手続きが遅延するとの観測が支援となり、上昇しました。

■米国では、当月に発表された経済指標は概ね好調でした。非農業部門雇用者数は10月が16万1,000人増と堅調なペースを維持した上、8、9月分も上方修正されました。個人所得と支出はともに増加し、小売売上高は予想を上回りました。ISM景況感指数は製造業が上昇し、非製造業も低下はしたものの、依然として拡大と縮小の境目である50を上回りました。住宅統計は概ね好調でした。NAHB住宅市場指数は高い水準を維持し、住宅建設許可件数、住宅着工件数、中古住宅販売はいずれも増加しました。一方、新築住宅販売は減少し、予想を下回りました。消費者物価指数は燃料コストの増加により、上昇しました。

■欧州では、新規受注と雇用が牽引役となり、PMIが製造業とサービス業の両方で予想を上回りました。また、小売売上高は減少しましたが、消費者信頼感改善しました。ドイツでは、製造業受注が他のユーロ諸国からの需要低迷により予想外の減少となりました。さらに、鉱工業生産についても、減少が確認されました。英国では、製造業PMIは生産と雇用の上昇により依然として50を上回る水準で推移しています。また、失業率は低水準での推移が継続しています。

■中国では、PMIが製造業と非製造業が共に上昇しました。また、消費者物価指数は食品価格の上昇により、生産者物価指数はコモディティ、特に、鉄鋼と石炭の価格上昇により、いずれも高い伸びを示しました。

■主要国の中央銀行の大半が金利を据え置きましたが、ニュージーランド準備銀行は政策金利を0.25%引き下げ1.75%としました。日銀は予想通り追加緩和に踏み切らず、BOEは金融政策スタンスを緩和的から中立に変更しました。イエレン米連邦準備制度理事会(FRB)議長は利上げに近いことを示唆しました。

(ファンド・レビュー)

11月のファンドのパフォーマンスは前月比+3.90%、ベンチマークのパフォーマンスは前月比+4.07%、ファンドのベンチマークに対する相対パフォーマンスは-0.18%となりました。当ファンドが組入れているマザーファンドの11月のパフォーマンス(ドルベース)をベンチマークと基準を揃えて比較すると、ファンドのパフォーマンスは以下の要因から、ベンチマークを上回りました。

■(+)デュレーション戦略はプラスに寄与しました。12月の利上げ、世界経済の回復、および各国中央銀行による流動性の供給削減の可能性が高まるとの見方に基づいて米国のイールドカーブの傾斜化(スティーピング)を想定したポジションを構築したことは、米国大統領選挙において、ドナルド・トランプ氏が当選し、新政権に対する財政出動期待から米国金利が上昇したことを受けてプラスに寄与しました。同じ見方に基づき英国中期債をアンダーウェイトとしたこともプラスに寄与しました。一方、商品市況の持ち直しを背景にカナダ短期債をオーバーウェイトとしたことは、米国大統領選挙において、ドナルド・トランプ氏が勝利したことを受けて米国を中心に国債が売られ、カナダ国債もその動きに追随し、金利が上昇したことからマイナスに寄与しました。

■(0)国別配分戦略の寄与は中立となりました。

■(0)イールドカーブ戦略の寄与は中立となりました。

■(+)通貨戦略はプラスに寄与しました。北米と欧州・アジアとの間で経済成長の格差が拡大するとの考えに基づき米ドルをオーバーウェイトとしたことは、財政支出拡大への期待から米ドルが大半の主要通貨に対して上昇したためプラスに寄与しました。

■(0)信用戦略の寄与は中立となりました。

●基準価額の変動要因分析

(単位:円) (単位:%)

	基準価額	月次騰落率
2016年11月30日	9,458	-
2016年10月31日	9,104	-

増減	354	3.90
----	-----	------

債券要因	-156	-1.71
キャピタル	-172	-1.89
うち現物	(-172)	(-1.89)
うち先物	(-)	(-)
インカム	16	0.18
為替要因	520	5.71
小計	364	4.00

その他要因	-10	-0.10
-------	-----	-------

要因合計	354	3.90
------	-----	------

※ 上記の要因分析は、主要項目別に寄与度を概算した参考値です。
※ 月中に分配があった場合の基準日の基準価額は、分配金込みです。

運用担当者のコメントは、受益者向けに投資信託の運用状況を開示するため、ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピー(以下、ウエリントン社)から提供された情報を元に、農林中金全共連アセットマネジメントが作成したものです。ウエリントン社からの情報は、海外市場の月末を基準として提供されており、ファンドの評価基準日は一日異なります。また、上記コメントは、将来の市場環境の変動、正確性等を保証するものではありません。

JA海外債券ファンド(隔月分配型)

追加型投信/海外/債券

<運用担当者のコメント>

●今後の市場見通しと運用方針

■世界経済は緩やかながらも回復の兆しを見せ始めつつあり、世界的な金利上昇は今のところ経済に大きな影響を及ぼしていません。米国金利の今後の趨勢は、トランプ次期大統領の政策動向によって左右されることが考えられます。新政権に対する政策期待から米国金利は上昇していますが、行き過ぎれば経済成長とインフレ見通しを損なう恐れがあるため、引き続き注視していく必要があります。欧州では反EU機運の高まりが引き続き下方リスクになるとみています。こうした状況のなか、ポートフォリオ全体のリスクを注視しつつ、英国とドイツのデレションをアンダーウェイト、米国のデレションを機動的にオーバーウェイトとすることを検討します。通貨別では、米ドルをオーバーウェイト、英ポンド、ユーロ、ニュージーランド・ドルをアンダーウェイトとすることを検討します。

■債券:

【北米】失業率はFRBが目指す完全雇用の水準に到達していると考えられ、コアインフレ率や賃金の上昇が続いています。米国金利の今後の趨勢は、トランプ次期大統領の政策動向によって左右される可能性が高いと考えられます。トランプ次期大統領の選挙戦で掲げられた公約や最近の発言を勘案すると、同氏が税制改革や国防費増強、インフラ投資などを柱とする財政支出を実施する可能性は高いものと思われる。その一方で、貿易協定や主に中国やメキシコ製品に対して高関税を課す計画、移民政策は不透明なままとなっており、極端な場合、中国との貿易戦争は財政改革による効果を下方に押し下げただけではなく、世界的な不況を招きかねないリスクがあります。そのためトランプ次期大統領の今後の政策動向と経済状況について注視していく方針です。こうした環境のなか、米国のデレションを機動的にオーバーウェイトとすることを検討します。

【中国】金融緩和効果が顕在化して景気は上向いていますが、この傾向の持続可能性については疑問を持っています。中国人民銀行は、金融市場全体の安定性維持のための政策を通じて短期金利上昇を容認しています。金利上昇は経済成長やインフレ改善を背景に制御可能であるときには問題ありませんが、レバレッジ比率が高い金融セクターで懸念が生じる可能性があり、不動産市場はピークから落ち込みの兆候が見られつつあります。その他の下方リスクとして、不動産価格の抑制に向けた追加的な引き締め措置、金利の急激な上昇、人民元の下落とそれに伴う資本流出が挙げられます。

【オーストラリア】インフレ指標が低水準で推移するなか、FRBに比べオーストラリア準備銀行(RBA)の緩和的な金融政策が長期化するとみられ、米国金利対比で頭の重い展開を見込むことから、オーストラリアのデレションは足許中立とします。

【ユーロ圏】最近の消費者信頼感が高水準に推移し、経済成長が加速化していることが示唆されています。極めて不透明な政治状況が足枷になっているものの、欧州経済は緩やかに拡大しています。2017年中には、欧州中央銀行(ECB)による本格的な量的金融緩和の段階的な縮小が実施される可能性は高いと予想しています。このような環境のなか、ドイツのデレションをアンダーウェイトとすることを検討します。

【英国】BOEが大規模な金融緩和政策を導入したことを受けて、英国の国民投票後の経済指標は想定以上に力強い内容となっています。EU離脱の決定によるショックが緩和されていることを考慮すると、BOEが今後追加的な措置を講じる可能性は低いものと思われる。政策金利は据え置きが予想されますが、量的金融緩和は2月以降延長されず、財政出動も大きな期待は見込めないものと考えられます。EU離脱の手続きが始まることもリスクとなります。EU基本条約第50条がいつどのように発動されるのかという点が鍵となっており、第50条が発動されれば不透明感が再び高まることが予想されます。このような環境のなか、英国のデレションをアンダーウェイトとすることを検討します。

■通貨:

【米ドル】引き続き、米ドルについてはやや強気にみているものの、米ドル高があまりにも急速に進展したため、現水準で留まるか、もしくは緩やかな調整局面に入る可能性が高いと思われます。そのため米ドルのオーバーウェイトを継続するものの、オーバーウェイト幅を機動的に削減する方針です。

【ユーロ】ユーロ圏への資金流入はユーロを一時的に下支えするものと思われるが、反EU機運の高まりが引き続き下方リスクになるとみています。このためユーロをアンダーウェイトとする方針です。

【英ポンド】EU離脱にかかる一連の動向に対して、再び不透明感が高まっていることから、英ポンドをアンダーウェイトとする方針です。

【スウェーデン・クロネ】インフレ及び賃金に安定化の兆しが見られるため、スウェーデンの中央銀行がECBに連動した金融緩和政策を講じる可能性は低いと見ていることから、スウェーデン・クロネをオーバーウェイトとする方針です。

【豪ドル】インフレ指標が低水準で推移するなか、FRBに比べ、RBAの緩和的な金融政策が長期化するとみられることから、足許では豪ドルをアンダーウェイトとする方針です。

【ニュージーランド・ドル】ニュージーランド国内のインフレ率が低位で推移していることや、ニュージーランド準備銀行(RBNZ)が緩和的な姿勢を継続するとの見方から、ニュージーランド・ドルをアンダーウェイトとする方針です。

■信用セクター:

世界経済はゆるやかながらも改善の傾向にあり、企業活動を支援する経済政策は、社債のファンダメンタルズを支え、クレジットに対してポジティブに働くと予想しています。短期金利の上昇やイールドカーブのスティープ化は、金融機関の利鞘を拡大し業績改善を後押しすると考えられることから、特に米国の金融セクターを選好します。また、エネルギーセクターも魅力的であると考えており、特にバランスシートの改善に注力している企業や、原油価格の上昇によって恩恵を受ける企業を選好します。地域的観点では米国企業に着目しています。これは、トランプ氏が提唱している法人税減税や海外留保利益の本国送金時の税制優遇措置により、米国企業はその恩恵を享受できる可能性が高いとみているためです。海外留保利益が米国に持ち込まれば、企業のバランスシートは改善され負債調達必要性が低減することから、新規社債の発行量減少が見込まれます。一方、欧州では構造的な弱さと政治リスクが依然懸念材料となっており、政治的不透明感は2017年に突入するにつれ混迷が深まると予想しています。このような環境のなか、米国投資適格社債を選好し、特に金融セクターとエネルギーセクターを中心とする方針です。

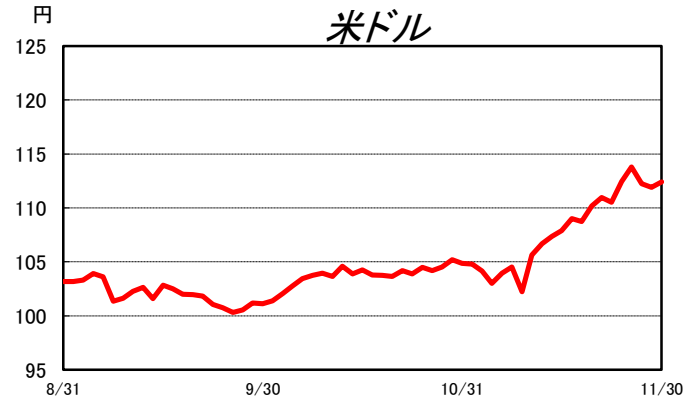
運用担当者のコメントは、受益者向けに投資信託の運用状況を開示するため、ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピー(以下、ウエリントン社)から提供された情報を元に、農林中金全共連アセットマネジメントが作成したものです。ウエリントン社からの情報は、海外市場の月末を基準として提供されており、ファンドの評価基準日とは一日異なります。また、上記コメントは、将来の市況環境の変動、正確性等を保証するものではありません。

JA海外債券ファンド(隔月分配型)

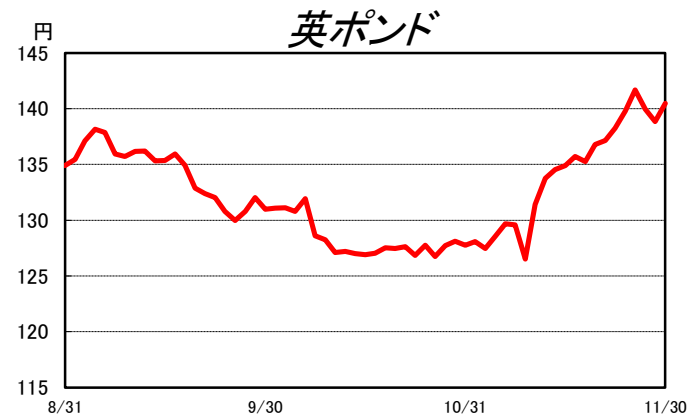
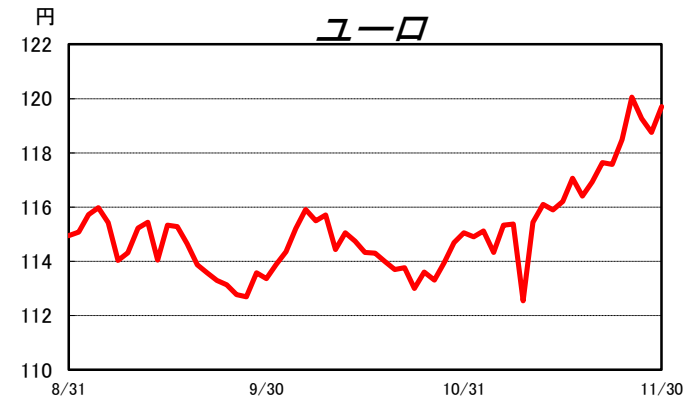
追加型投信/海外/債券

＜参考＞市場動向(マーケット指標の推移)

○為替相場



○債券市場



当ファンドは、公社債などの値動きを生じる証券(外貨建資産には為替リスクもあります。)に投資しますので、基準価額は日々変動します。従って元金が保証されるものではありません。また、運用の成果は運用の実績により変動します。投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客様に負っていただくことになります。当資料は当社が信頼できると判断したデータにより作成しましたが、その正確性、完全性等を保証するものではなく、また事前の通知なしに内容を変更する場合があります。投資信託は貯金(預金)保険制度の対象ではありません。当資料は金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。



JA海外債券ファンド(隔月分配型)

追加型投信／海外／債券

○お申込みメモ

- 購入 いつでもご購入いただけます。
ただし、ニューヨーク証券取引所の休場日またはニューヨークの銀行の休業日にはご購入の申込みの受け付けを行いません。
- 購入単位 販売会社が定める単位
- 購入価額 購入申込日の翌営業日の基準価額
- 購入時手数料 購入申込日の翌営業日の基準価額に1.62%(税抜1.50%)以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額とします。
詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
- 信託設定日 2006年10月16日
- 信託期間 無期限
- 信託報酬 純資産総額に対して年1.296%(税抜1.20%)
- 決算日 毎年1、3、5、7、9、11月の各10日、各々休業日の場合は翌営業日
- 収益分配 利子・配当収入を中心に委託者が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定するものとし、原則として安定した分配を継続的に
行うことを目指します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。
分配金は、原則として決算日から起算して5営業日目までに支払いを開始します。
「分配金再投資(累積投資)コース」の場合は、収益分配金は税金を差し引いた後、自動的に無手数料で再投資されます。
- 換金 いつでも解約請求によってご換金いただけます。
ただし、ニューヨーク証券取引所の休場日またはニューヨークの銀行の休業日にはご換金の申込みの受け付けを行いません。
- 換金単位 1口単位
- 換金価額 換金申込日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた価額
- 信託財産留保額 換金申込日の翌営業日の基準価額に0.20%を乗じた額
- 換金代金の支払い 換金代金は原則として換金申込日から起算して5営業日目から支払いを行います。
- 税金 <個人のお客様の場合>
 - ・ 収益分配時の普通分配金については、配当所得として取り扱われ、課税されます。
 - ・ 換金時ならびに償還により交付を受ける金銭等は、譲渡所得とみなし、譲渡益に対し課税されます。
 <法人のお客様の場合>
 - ・ 収益分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の個別元本超過額に対し課税されます。
 ※ 税制が改正された場合等には、上記の内容が変更となることがあります。詳しくは、販売会社、税務署などへお問い合わせください。

ニューヨーク証券取引所の休場日またはニューヨークの銀行の休業日には、購入、換金のお申込みの受け付けを行いません。金融商品取引所や外国金融商品市場における取引の停止、その他やむを得ない事情があるときには、購入、換金のお申込みの受け付けを中止すること、およびすでに受け付けた購入、換金のお申込みを取り消す場合があります。

○委託会社、その他の関係法人

- ◆委託会社: 農林中金全共連アセットマネジメント株式会社(金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第372号
一般社団法人 投資信託協会会員/一般社団法人 日本投資顧問業協会会員)
信託財産の運用指図、目論見書および運用報告書の作成等を行います。
: ウェリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピー(投資顧問会社)
当ファンドの直接の関係法人ではありませんが、委託会社よりJA海外債券マザーファンドにおける外貨建資産の運用
および為替取引の指図に関する権限の委託を受けて投資判断・発注等を行います。
- ◆受託会社: 三菱UFJ信託銀行株式会社(再信託受託会社: 日本マスタートラスト信託銀行株式会社)
追加信託に係る振替機関への通知等、信託財産の保管・管理・計算等を行います。
- ◆販売会社: 以下をご覧ください。
ファンドの募集の取扱い・販売、目論見書・運用報告書の交付、一部解約の請求の受付、収益分配金、償還金
および一部解約金の支払い等を行います。

販売会社等につきましては、以下の先までお問い合わせください。

- ◆農林中金全共連アセットマネジメント株式会社
ホームページ: <http://www.ja-asset.co.jp>
フリーダイヤル: 0120-439-244(受付時間: 営業日の午前9時~午後5時)

お申込、投資信託説明書(交付目論見書)のご提供は



JA海外債券ファンド(隔月分配型)

追加型投信／海外／債券

○主なリスクと手数料

下記の事項は、この投資信託(以下「当ファンド」という。)をお申込みされる投資家の皆様にあらかじめ、ご確認いただきたい重要な事項としてお知らせするものです。

お申込みの際には、下記の事項および投資信託説明書(交付目論見書)の内容をよくお読みください。

<当ファンドに係るリスクについて>

当ファンドは、主に日本を除く世界各国の公社債を実質的な投資対象としますので、海外金利の上昇による組入公社債の価格の下落や、組入公社債の発行会社等の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資を行いますので、為替の変動により損失を被ることがあります。

したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金が割り込むことがあります。

当ファンドの基準価額の変動要因としては、主に「金利変動リスク」「為替変動リスク」「信用リスク」などがあります。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

<当ファンドに係る手数料等について>

◆申入手数料(1口当たり)・・・申込時にご負担いただくものです。

お申込日の翌営業日の基準価額に1.62%(税抜1.50%)以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額とします。

※詳しくは販売会社もしくは申入手数料を記載した書面にてご確認ください。

◆換金(解約)手数料・・・換金時にご負担いただくものではありません。

ありません。

◆信託報酬・・・保有期間中に間接的にご負担いただくものです。

ファンドの純資産総額に年1.296%(税抜年1.20%)の率を乗じて得た額とします。

◆信託財産留保額(1口当たり)・・・換金時にご負担いただくものです。

換金申込受付日の翌営業日の基準価額に0.20%の率を乗じて得た額とします。

◆監査費用・・・保有期間中に間接的にご負担いただくものです。

ファンドの純資産総額に年0.00324%(税抜年0.003%)の率を乗じて得た額とします。

◆その他の費用(*)

有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引、オプション取引等に要する費用、外国における資産の保管時に要する費用、信託事務の処理に要する諸費用、信託財産に関する租税、受託者の立て替えた立替金の利息、資金借り入れを行った場合の借入金利息

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「費用と税金」をご覧ください。

(*)「その他の費用」については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。

当該手数料等の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

○留意事項

■ 当資料は、農林中金全共連アセットマネジメント株式会社(以下、「当社」といいます。)が作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。

■ 当資料は当社が信頼できると判断したデータ等により作成しましたが、その正確性、完全性等を保証するものではなく、また事前の通知なしに内容を変更する場合があります。市場環境等の見直しにつきましても、その確実性を保証するものではありません。また、将来の運用成果を保証するものでもありません。

■ 当ファンドは、公社債などの値動きの生じる証券(外貨建資産には為替リスクもあります。)に投資しますので、基準価額は日々変動します。したがって、元金および収益分配が保証されるものではなく、投資元本を割り込むことがあります。また、運用の成果は運用の実績により変動します。投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客様に負っていただくこととなります。

■ 投資信託は預貯金や保険商品とは異なり、預金(貯金)保険機構、保険契約者保護機構の保護対象ではありません。投資信託のお申込みに関しては、クーリングオフの適用はありません。

■ ご購入の際は、販売会社より投資信託説明書(交付目論見書)をお渡しますので、必ずお受取りいただき、詳細をご確認のうえ、ご自身でご判断いただきますようお願いいたします。

■ シティ世界国債インデックス(除く日本・当社円換算ベース)は、Citigroup Index LLCが開発した、シティ世界国債インデックス(米ドルベース)をもとに、シティグループ証券株式会社の許諾を得て、当社が独自に円換算したものです。